Tiny Basic for Windows 更新記録

Ver. 1.5 から Ver.1.6 への更新記録
Ver. 1.6 から Ver.1.61 への更新記録
Ver. 1.61 から Ver.1.62 への更新記録

tbasic.org [*1]

Ver. 1.62 用 [2026 年 02 月版]

環境設定の方法は，「Tiny Basic for Windows 導入編」をご覧ください。

■動作環境

- Windows Media Player がインストールされていない PC でも tbasic が起動できるよう変更しました。勿論この場合，MediaPlayer 関連の機能は利用できません。（Ver.1.62）

■環境設定関係

- 環境設定ファイルとして新たに tbasic.config を使うことにしました。
- これに伴い，Ver. 1.5 まで使用していた，レジストリ，tbasic.ini を廃止しました。
- 環境設定ファイル tbasic.config は tbasic.exe と同じフォルダに常に保存します。
- tbasic.config は `UTF-8` で保存される xml ファイルです。
- エンコーディングの初期設定を `UTF-8` としました。（Ver.1.6）
- エンコーディングの初期設定を読み込み，書き込み設定に細分しました。
  初期設定は読み込み `AUTO`，書き込み `UTF-8` としました。（Ver.1.61）

以下の関数，コマンドの使用法は，ヘルプを参照してください。

■ファイル処理関係

- ユニコードでの出力で `BOM` の有無を指定できるようになりました[*2]。
- エンコーディング判定関数 `GetFileEncodingName` を新たにサポートしました。
- バイナリファイルの簡易読み取り，書き込み用の関数，コマンドとして，`ReadAllBytes`，`WriteAllBytes` をサポートしました。
- `AppendAllText` コマンドをサポートしました。（Ver. 1.61）
- `GetDirectoryName` 関数をサポートしました。（Ver. 1.61）

■関数

- 数値や文字列を整形する関数 `Format` をサポートしました。

■配列操作関係

[*1] https://tbasic.org
[*2] Ver. 1.5 までは，常に `BOM` 付ファイルが生成されました。

- 文字列配列や，数値配列を昇順に整列するコマンド `Sort` をサポートしました。
- `Sort` で，大文字小文字無視版をサポートしました。（Ver. 1.61）
- 逆順への整列のための補助コマンド `Reverse` をサポートしました。

■グラフ操作関係

- 画像の縮小・拡大のためのコマンド `ResizeImage` をサポートしました。
- 利用可能最大グラフ画面が 4500×4500 ピクセルになりました。（Ver. 1.61）
- 画像の回転のためのコマンド `RotateFlip` をサポートしました。（Ver. 1.62）

■コントロール画面関係

- CLabel で以下のプロパティの追加しました。
  - AutoSize
  - Transparent
  - WordWrap
- CTextBox で以下のプロパティの追加しました。
  - ReadOnly
  - ReadEnter
- CWindowState, EWindowState, GWindowState で状況”SetFocus” を追加しました。（Ver. 1.62）

■その他

- OS 判定で Windows 11 が認識できるようになりました。
- コントロール画面から呼ばれる Sub で，StrToForm, EvalForm が使えるようになりました。（Ver. 1.62）